

第5回地域づくりフェス「地域づくりコンテスト」エントリー一覧

No.	事業名（イベント名）	主催者
1	eスポーツ選手権	一箕地区ひとみ創造ネットワーク
2	長寿を祝う日	一箕地区ひとみ創造ネットワーク
3	フォトコンテスト	一箕地区ひとみ創造ネットワーク
4	クリスマスプレゼント企画	金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会
5	定例ランチ会・体験乗車会	金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会
6	支所の利活用	河東地域づくり委員会
7	地域歴史ガイドマップの作成	河東地域づくり委員会
8	凍み餅プロジェクト	河東地域づくり委員会
9	ひとのわウォーキング	北会津地域づくり委員会
10	フルーツ＆フラワーフェスティバル	北会津地域づくり委員会
11	ふれあい号の利用促進	北会津地域づくり委員会
12	おおとっこ交流イベント	NPO法人大戸まちづくり協議会
13	マルシェ	NPO法人大戸まちづくり協議会
14	ボランティア輸送	NPO法人大戸まちづくり協議会
15	バスツアー	北地区地域づくり協議会
16	夏まつり	北地区地域づくり協議会

17	フォトコンテスト	北地区地域づくり協議会
18	たたら製鉄操業実証実験	NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク
19	みなとバスの利便性向上	NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク
20	交流・体験事業の構築	NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク
21	八角神社お日市	行仁まちづくり協議会
22	ふらっと温泉バスツアー	行仁まちづくり協議会
23	地域の情報発信	行仁まちづくり協議会

「一箕eスポーツ選手権」

主催者:一箕地区ひとみ創造ネットワーク

取組紹介:

○10月26日(日)一箕地区文化創造祭の開催と合わせて、大人から子どもまで一緒に「一箕eスポーツ選手権」を開催しました
延べ参加人数:69名

ゲームの種類:

ぷよぷよ、太鼓の達人、グランツーリスモ

アピールポイント:

○今年度、県の事業に採択され文化創造祭で初めて開催しました。
○家族連れやお友達と一緒にゲームを行い、楽しい時間を過ごすことができました。
○文化創造祭の集客に繋がりました。



「長寿を祝う日」

取組紹介:

○10月26日(日)一箕地区文化創造祭とい合わせて、会場に来られた一箕地区在住の80歳以上の方々を対象に、紅白まんじゅうとお水を贈呈するなど敬老事業「長寿を祝う日」を開催しました。

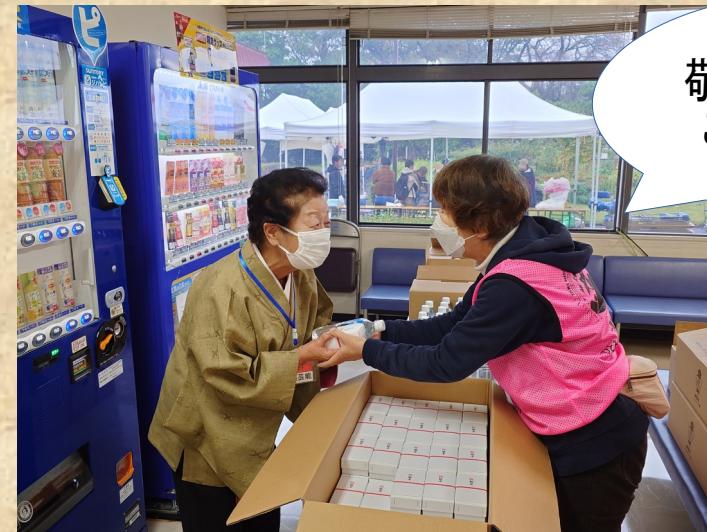
延べ参加人数:98名

アピールポイント:

○今年度初めて文化創造祭に合わせ敬老事業を開催しました。

○お年寄りの方にも、「ひとみネット」の活動を知つてもらう機会となりました。
○文化創造祭の集客に繋がりました。

主催者:一箕地区ひとみ創造ネットワーク



敬老席から見えるところに「敬老おめでとうございます」と書かれた足もと看板を設置しました！

「一箕地区フォトコンテスト」

取組紹介：

○一箕地区の魅力を伝えるために、「一箕地区フォトコンテスト2025」を開催しました。応募総数は100枚を超え、その中から入賞した作品を「文化創造祭」で展示しました。また、入賞された方々には、賞品をお渡しました。

アピールポイント：

○今年度初めて開催しました。
○広い一箕地区の魅力を再発見するとともに、見逃してしまいがちな風景にも着目することで、新たな地域資源の発掘にも繋がりました。
○入賞作品はHP・SNSに掲載し、一箕地区的魅力を発信していく予定です。

主催者:一箕地区ひとみ創造ネットワーク



入賞作品は文化創造祭で展示され、スクリーンにも投影されました！

最優秀賞に輝いた
さざえ堂ライトアップ



「クリスマスプレゼント企画」

主催者：金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会

取組紹介：

- 車内に設置された靴下へ『サンタへのお願い』を出した方には、ささやかなプレゼントが届きます♪
- 「さわやか号」もクリスマス専用の装飾を行い、乗るだけでワクワクした気分に♪

アピールポイント：

- お願いを出す時とプレゼントを受け取る時とでバスを2回利用してもらう仕掛けにする
ことで利用促進に繋げています！
- クリスマス以外にも、季節ごとにも様々なラッピングを行っています！



「定例ランチ会・体験乗車会」

主催者：金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会

取組紹介：

- 定例ランチ会：月に一度、中心市街地まで「さわやか号」に乗って皆でランチを食べに行きます♪
- 体験乗車会：利き酒体験や市役所新庁舎見学など、運行経路上の施設で楽しい催しを企画します♪
→上記2つの取組は、利用者数の向上や外出機会の創出に貢献しています！

ランチ会はこれまでに110回開催し、延べ2,202人が参加！（R7.11現在）

アピールポイント：

- ランチ会や乗車体験会の日は、バスを増車して対応するほどの盛況ぶり！
- バスの利用促進だけではなく、地域や高齢者の交流の場に！



「河東支所の利活用を提案しました」

主催者:河東地域づくり委員会
(総務部会)

取組紹介:

○河東支所は、今年の春まで仮庁舎として利用されてきました。新庁舎へ農政部が移転してからは、支所1階の北側が空きスペースになりました。そのため、総務部会では、「交流・学習スペース」としての利活用を支所に対して提案しました。

アピールポイント:

○支所内に眠っていたソファーやテーブルを空きスペースに配置することで、誰もが利用できる「交流・学習スペース」の機能も備えたクールスポットやウォームスポットに生まれ変わりました。



河東学園前期課程の児童を対象に開催した「アイラブ河東絵画・作文コンクール」の作品や会津若松市食生活改善推進協議会5班(ラズベリーの会)の活動内容を展示しています。

「河東地域歴史ガイドマップを作成します」

主催者:河東地域づくり委員会
(生活環境部会)

取組紹介:

○生活環境部会では、会津河東史談会と一緒に、地域に点在する文化財や史跡などをまとめた「河東地域歴史ガイドマップ」を作成しています。令和7年度中の発行を目指して、写真撮影や文章の校正をしています。

アピールポイント:

○地域の歴史を分かりやすく伝えられる冊子を作り、「私たちの地域には、素晴らしい歴史があるんだ」と地域の皆さんに再認識していただくことで、郷土愛やシビックプライドの醸成や、愛着形成につなげていきたいと考えています。



北山集落にある「ホイホイ地蔵」は、隣の浅野集落にある地蔵(現六地蔵)の一つが移ってきたといわれています。春になると、満開の桜の下に佇む地蔵が印象的です。

国重要文化財に指定されている延命寺地蔵堂。この建物の屋根は、禅宗様の重層建築で二階建てのように見えることから、「藤倉二階堂」とも呼ばれ、地域の皆さんに親しまれています。

「学生と一緒に取り組む『凍み餅プロジェクト』」

取組紹介：

○次期ビジョンの策定や県の大学生事業を担当する「みなづるプロジェクトチーム」では、会津大学短期大学部産業情報学科成澤ゼミと一緒に河東地域の活性化のため活動しています。その一つとして、学生がフクラム基金を活用し、カレーや抹茶、ココアなどの味付けの新しい「凍み餅」を開発しています。

アピールポイント：

○河東地域の特産品である米に着目し、地域を代表する土産品になってほしいとの思いで開発しています。11月24日には、デフリンピック会場で世界中の人々に、河東地域の魅力を伝えました。



主催者：河東地域づくり委員会
(みなづるプロジェクトチーム)

河東地域イメージキャラクター皆鶴姫を使ったパッケージデザイン。これまでカレーやコンソメ、黒蜜ココア、バター醤油、抹茶を作り、アンケート調査をしてきました。今後、どの商品を将来的に継続販売するか決めています。

凍み餅は、河東地域の六次化農家さんである「もちはもち屋」さんに製造委託しています。「もちはもち屋」と相談しながら、開発を進めています。

販売は、河東地域のPRをかねて、地域づくり委員会と一緒に実施しています。

「きたあいづひとのわウォーキング」主催者：北会津地域づくり委員会 ひとのわ部会

取組紹介：

○今年度からの新規事業で、世代間交流や健康づくりを目的に企画しました。白山公園から北会津保健センターまで約2.5キロを歩き、地元の自然や歴史を感じられるルートとなっております。ゴール後は地元産のリンゴを振る舞い大変好評がありました。

アピールポイント：

○この事業は委員が自ら運営している「みんなでつくるイベント」です 地域の健康と絆を育む恒例行事として開催していきたいと考えています。

R7.10.19 ホタルの森公園



少し肌寒いですが、みんなで元気に歩きます。



最後はみんなでハイ！チーズ



給水ならぬ“給りんご”
リンゴカッター大活躍！



「フルーツ＆フラワーフェスティバル」

北会津地域づくり委員会（つくりて部会）

取組紹介：

- フルーツ＆フラワーフェスティバル実行委員会が主催となり開催しました。地元農産物の直売や「みそづくり体験」、今年度もキッチンカーにも来ていただき、今年初開催となりましたバルーンショーも子どもたちに大人気でした。

R7.9.13 ホタルの森公園

アピールポイント：

- フェスティバル開催の趣旨である「自然とふれあう場と新鮮な農作物提供の場の融合」の具現化に向け、地域の魅力を発信していきます。

新鮮な野菜・果物を求めて多くの皆さんのが集まりました。



今年初開催となりましたバルーンショーです。子どもたちに大人気



地域づくり委員会でスムージー販売をいたしました。

北会津地域づくり委員会 「ふれあい号の利用促進」

地域づくりコンテスト
エントリーNo11

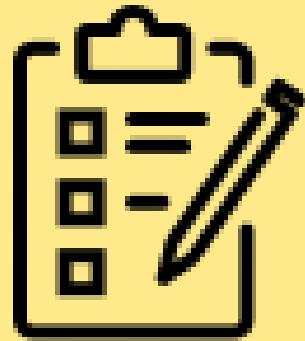
ふれあい号をもっと使いやすく！地域の工夫大集合！

仕組みづくり



定期券の導入

障がい者や免許返納者への
割引制度の導入



利用者アンケート



こども目線



夏休みの学習相談会
運賃補助

乗って楽しいイベント



アピールポイント

広い北会津で、少しでも利用しやすい環境を作るために、
皆のアイディアを実現させてきました。また、こども目線で
も利用しやすいような取り組みを行いました。

「おおとっこ交流イベント」

主催者:特定非営利活動法人 大戸まちづくり協議会

取組紹介:

○大戸町の子どもたちと一緒に、様々なゲームをしたり、一緒に食事をする夏の一大イベント。今年で三回目となり、参加者数は100人を超え過去最高となつた。

アピールポイント:

○当初は地域にある会津児童園のイベントとしてスタートしたが、それが公民館と協議会の共催イベントとなり、大戸小・中学校、地域の旅館である大川荘、地域住民と、子どもからイベントの輪が広がつていった。今年は、区長会や民生委員、PTA等の各種団体にも広く協力を呼びかけ、町全体のイベントとして育ちつつある。



快晴の中、テレビゲームやニュースポーツ、巨大ジェンガ等を楽しみました。また、地域の旅館や地域住民から野菜やソーセンなど、イベントに対して多くの支援をいただきました。



「大戸マルシェ」

取組紹介：

○地域の活性化のため、地場産品や特産品を売るマルシェを、毎年秋に芦ノ牧温泉駅前広場で始めました。2020年の第1回から続き、今年11月8日、第7回になります。

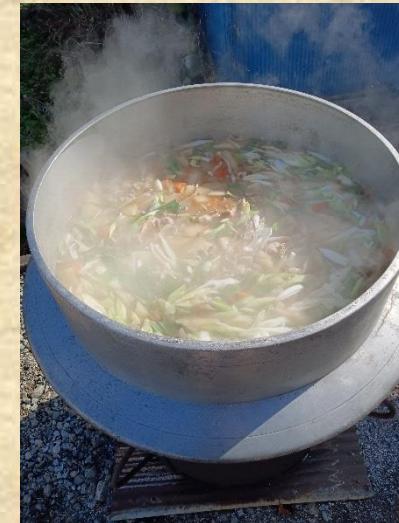
アピールポイント：

○大戸の地場産品を使った芋汁、大學芋のほか、イベント限定商品も販売しています。
新鮮な野菜や新米もお得な価格で買えますよ！

主催者：特定非営利活動法人 大戸まちづくり協議会



大戸のサツマイモで作った大学芋



熱々の芋汁！

今年は子供限定で芋汁券を配布。地域全体でイベントを盛り上げました!!



大戸マルシェ
限定スイーツ!!

「ボランティア輸送」

主催者:特定非営利活動法人 大戸まちづくり協議会

取組紹介:

○2021年3月、交通手段が無い高齢者等を助けるため、買い物・通院にも活用できる移動サービスを開始しました。ドライバーはふくし部会を中心としたボランティアで、利用者は隔月配付のチラシを見て予約しています。

アピールポイント:

○利用にあたってはdoor-to-doorで対応しています。
当初は闇川(くらがわ)地区のみを対象としていましたが、多様なニーズに応えるため、他の大戸地区にも拡大しました。



協議会所有の社用車。これでボランティア輸送を実施している。現在、乗車人数は3名だが、新しい車両についても協議中。



大戸まちづくり協議会ほほえみふくし部会の定例会の様子。地域住民の協力によって、ボランティア輸送は成り立っています!!

北地区バスツアー

主催者：北地区地域づくり協議会（ふくふく絆部会）

取組紹介：

この取り組みは、主に地区内高齢者のお出かけ促進や交流促進を目的に企画され、今回は特に市役所新庁舎が竣工したことに伴い、庁舎見学を主なテーマとして実施しました。昨年度は北会津保健センターの温泉をテーマとして実施しました。毎回多くの参加希望がありますが、特に今回は当初の予定を上回る希望があり、バスも増車して対応しました。

アピールポイント：

毎回人気のお出かけツアーですが、今回は事業実施後のアンケートを踏まえ内容を決定。地域の方々の『見てみたい』の内容にフィットした企画となりました。



今回『北地区バスツアー』と銘打つにあたり、**法令順守の観点からも事業構築でき、今後の継続性についても確認できたことは強味となった。**



お出かけツアーは継続して行っています。時流に即した内容で実施するよう心がけています。

北地区夏まつり

主催者：北地区地域づくり協議会（いな穂子育て部会）

取組紹介：

この取り組みは、3回目をむかえ地域にも徐々に定着し、昨年度を超える入場者を迎えることができました。（初年度350名　昨年度327名　今年329名）

今回は中高生によるボランティアによる運営参加や、さらに高齢者の方々の来場も多く見受けられました。

アピールポイント：

各地区の夏まつりが消滅していく中、唯一の夏まつりとして定着しつつある。各区長会でも大変良いイベントだとの意見も聞かれるようになってきている。



今回の開催準備中に他団体との連携について、他の会合で話題となることもあったようなので、今後このような連携についても検討していくことも有効と感じました。

さらに、多世代間の交流が促進できるように、開催に向けて工夫を凝らしていきたい。そのためにも、小中高生が参加したいと思える魅力づくりを図っていきたい。



北地区フォトコンテスト

主催者：北地区地域づくり協議会（和づくり部会）

取組紹介：

2回目の実施となり、今回はInstagramを活用した開催としました。デジタル活用で応募数等困難も予想されましたが100点を超える応募がありました。

アピールポイント：

今回初のInstagramのみでの開催でしたが応募すなわち、北地区の紹介PRにつながり、フォロワーも同時に獲得できることから新鮮な事業として、部会でも受け止められました。また、審査会もプリントすることなくスクリーン上で部会審査員のリアルな意見を聞けることからスムーズに進めることができました。



Instagramを活用したフォトコンはプリントを募集するよりも簡素化が図られ応募即、拡散につながることもあり、かなり有効で今後の可能性を感じました

今後もさらにPR手法を検討しながら地元中高生の参加もターゲットにしながら開催をしていきたいと考えています。



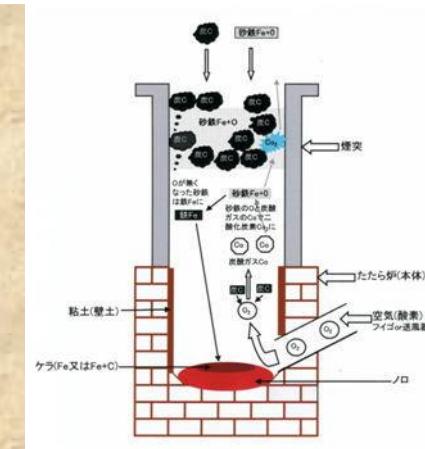
湊町たら製鉄操業実証実験

取組紹介：

- 白虎隊激戦地である湊の伝統的製鉄法
- 町の魅力発掘と発信
- 町の小・中学校とコラボ

アピールポイント：

- 会津藩や新撰組の使用した刀の原材料
- 生産の8割が湊であるとされる
- 「日本刀」「幕末」「新撰組」歴史に興味がある方へのアピール○



遺跡や神社を巡る体験
ツアーや、ボランティア
スタッフなど新規関係人
口の観点でも、
今後も湊町の魅力発掘、
次世代への文化継承を
目標に実証を続けてい
く



この取り組みは、
会津地方でも鉄の一大
生産地であった湊町の
伝統的製鉄法「たら
製鉄」の実証実験。
日本刀の原材料となる
「玉鋼」の精製が目標

「みなとバス運行日の変更による利便性のさらなる向上」

主催者:NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク

取組紹介:

○NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク主要事業の一つである「みなとバス」の運行日について、利用者の声を聞き、それに伴い変更を行うことにより、利用者のさらなる利便性の向上に寄与することができた。

→ 運休日を月曜日→木曜日に変更

アピールポイント:

○利用者へのヒアリングを適宜行うことにより、地域の声に合わせた事業へのアップデートを行っていことができる。

○毎月の定例会において、部会内で情報共有を行うことにより、課題に対してスピード感のある対応を行うことができる。

○定例会における協議の場に市担当課も入ってもらうなど、市との連携を密に行うことにより、国への変更申請等の対応への着手をスムーズに行うことができる。

【運行日変更による効果】

	令和6年											
項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
運行日数	15日	13日	15日	13日	15日	15日	16日	15日	13日	15日	16日	15日
利用無かった日	2日	3日	1日	1日	1日	1日	1日	3日	3日	1日	2日	1日

↓ 運行日を変更することにより「利用の無かった日」が大幅に減少

	令和7年											
項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
運行日数	16日	16日	16日	14日	13日	17日	17日	15日	16日	16日	16日	16日
利用無かった日	1日	0日	0日	0日	1日	0日	0日	0日	1日	1日	0日	0日

部会での協議の様子



「交流・体験事業の構築」

主催者:NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク

取組紹介:

○首都圏との関係人口形成を目的とする

交流・体験型事業を構築

- ➡・湊の主産業である米づくりと会津の主産業である酒づくりに着目
- ・横浜市役所、花春酒造と連携し、年間を通しての体験メニューのパッケージを構築・横浜市の高校生を対象に実証実施

アピールポイント:

○NPOを基点として体験の受け入れを行うことにより、収益を本事業の拡大や人材の雇用、その他の各種事業の拡大などの形で地域に還元していくことが可能となる。

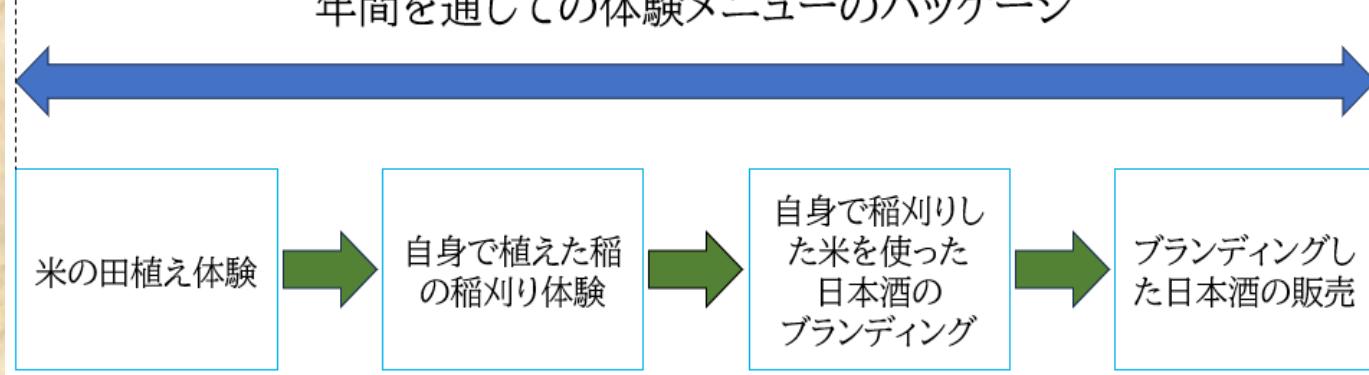
○受け入れ側の地域にとっても、収益が得られる、人手不足の緩和につながる等の効果が望める。



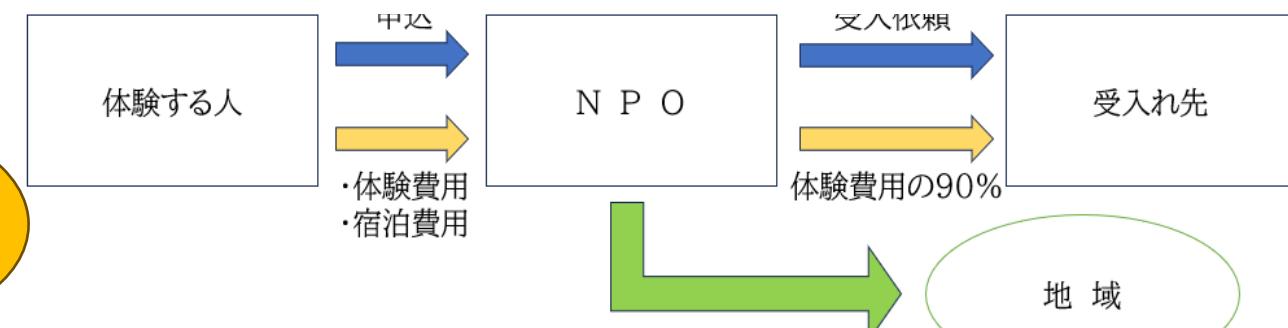
実際に高校生
がブランディ
ングを行った
日本酒

【パッケージの具体的な内容】

年間を通しての体験メニューのパッケージ



【受け入れに伴う収益のフロー図】



「八角神社『お日市』」

取組紹介:会津伝統の祭り「お日市」に参加
○今年は行仁地区にある「八角神社」に
絞ってお日市に協力。第一中学校美術部に
はオリジナルポスター制作を、行仁小学校
には塗り絵を依頼。またAiCTコンソーシア
ムの若手も参加するなど、今までにない協
力の輪を広げての参加となる。協議会自体
も日本酒の利き酒ブースを出展。地域内の
3酒蔵の日本酒を紹介。

アピールポイント:地元住民の方といっしょ
に地元の祭りを盛り上げることができた。
○特に例年に比べ子どもとその親御さん
が連れ立って来場する姿が多く見られ、今
までお日市に来たことがない地元住民を
呼び込むことができた。

主催者:行仁まちづくり協議会



今後もさらに認知度を
上げ、参加者・協力者(と
くに若者)を増やし、赤
沼神社、自在院など行仁
地区で行われているほ
かのお日市だけにとど
まらず、地域の催し全般
を盛り上げたい。



この取り組みは、会津
若松の伝統行事であ
る「お日市」に参加す
ることで地域づくり
に貢献しようとい
うもので、協議会と
して初めて地元の方と
いっしょに参加し盛り
上げることができた

「ふらっと温泉バスツアー」

取組紹介:「ふらっとふくし部会」による住民参加の温泉バスツアーを2日間開催。

○北会津の「ふれあいの湯」をバスで訪れる小旅行だが、非日常を体験することが参加者の満足度を高め毎年の取組としての定着を狙う。

アピールポイント:高齢者の慰安を目的とした取り組みであるが、参加者誰もが満足いくものであった。

○現地では体操にゲームに参加者は大いに盛り上がった。さらに明治乳業の協賛を得て健康チェックテストなども開催。メインの入浴を含めて盛りだくさんの内容であつたことで、終始笑いがあふれる催しであつた

主催者:行仁まちづくり協議会



今回は対象を限った募集であったが、今後はさらに枠を広げて地域住民の多くの方が参加できるものにしていきたい。行仁地区高齢者の人気イベントとなるような恒例イベント化を目指す。



この取り組みは、民生委員、社協、第一包括など関連団体と、行仁協議会が組んだ初めての試みとなる。参加者だけでなくスタッフもすべてが充実できた催しとなった。

「行仁の歩き方」で地区の情報を発信

主催者:行仁まちづくり協議会

取組紹介:行仁地区の魅力発信

○地域おこし協力隊員がnote「行仁の歩き方」を使って地域の魅力を発信。単なる観光地、おいしい店紹介にとどまらず、会津若松外から移住した大阪人の目線を活かして、地元の人も知らないおもしろスポットを見つける。さらには「行仁まちづくり協議会」のホームページも作成し情報発信。

アピールポイント:高齢者が多く情報共有が進んでいなかったが、住民の方が地域の魅力を再発見する機会となる。

○秋にはnoteから派生した、住民参加のまち歩きツアー「歴史探訪ウォーク」を開催。親子連れなど多数の参加があり、昼食会を行うなど、世代を超えた交流の場となる。



今後もホームページの充実を通して地域の情報を広く発信していきます。防災情報においても、高齢者など情報弱者を生むことなく、誰もが住みやすいまちづくりのツールとしていきます。



この取り組みは、住民の方にもっと地元の魅力を知ってほしいとの思いから始まりました。とくに若者に地元への愛着を持つてもらい将来的に住み続けてもらうことを願います。